

日商簿記3級対策講座(平成30年6月向け)

講 義 実 施 内 容

●基礎講義(1コマ180分) 18:00~21:00

回数	日程	講 義 内 容
1	4月19日(木)	簿記の目的・損益計算書と貸借対照表・取引と仕訳 P2~P21
2	4月23日(月)	勘定口座への記入方法・主要簿と補助簿・試算表・決算 P22~P50
3	4月25日(水)	商品売買の記帳方法 P52~P72
4	4月26日(木)	商品有高帳・現金の基調方法・当座預金の記帳方法 P73~P85
5	5月7日(月)	小口現金出納帳・手形の記帳方法 P86~P106
6	5月9日(水)	有価証券・有形固定資産・その他の債権および債務・資本金 P108~P123
7	5月10日(木)	訂正仕訳・試算表の作成・伝票 P124~P150
8	5月14日(月)	決算・売上原価の計算・精算表・貸倒引当金 P152~P167
9	5月16日(水)	減価償却・繰延べ・見越し P168~P189
10	5月17日(木)	消耗品および消耗品費・現金過不足・損益計算書の作成・貸借対照表の作成 P190~P124

日商簿記3級の試験構成は、全5問、試験時間2時間で100点満点中70点以上が合格という検定試験です。3級商業簿記は、個人商店を前提とした複式簿記による記帳処理の基礎、および簿記一巡の理の流れを学習していきます。この3級の内容が理解できれば、2級の内容もスムーズに学習できるようになります。

まずは前半の6回で簿記の基礎となる用語、仕訳を学習し、後半の3回で帳簿の記入方法、決算整理、財務諸表の作成を学習します。また、基礎講義終了後に確認テストを実施し、受講生の習熟状況を見るための成績管理と弱点分析を行ない、弱点克服のための的確な指導を行ないます。

回数	日程	講 義 内 容
11 (直対1)	5月21日(月)	総まとめ演習① 応用問題解答方法
12 (直対2)	5月23日(水)	総まとめ演習② 応用問題解答方法
13 (直対3)	5月24日(木)	総まとめ演習③ 応用問題解答方法
14 (直対4)	5月28日(月)	第1回答案練習会 解答解説
15 (直対5)	5月30日(水)	第2回答案練習会 解答解説
16 (直対6)	5月31日(木)	第3回答案練習会 解答解説
17 (直対7)	6月4日(月)	公開模試 解答解説
18 (直対8)	6月6日(水)	最終確認答練① 解答解説
19 (直対9)	6月7日(木)	最終確認答練② 解答解説

答案練習会では本試験と同様に第1問から第5問のヤマ問題を中心に試験を行います。模擬試験を受けることによって得意な分野、苦手な分野をはっきりと把握し、弱点補強を重点的に行いますので、より合格に近づくことが出来ます。

検定試験日:6月10日(日)